間違った情報を公開してしまうと

調べたことをまとめて、発表資料をつくり、まちのホームページで公開することにしました。
もし、その資料に間違いがあった場合、どのくらいのリスク（危険性）があるのでしょうか。
それぞれのリスクを考えてみましょう。

1

「〇〇」というおかしは、2000年に発売された

本当は2001年だった

2

「〇〇」という歴史上の人物は、1804年に△△で生まれた

1905年に□□で生まれていた

3

〇〇というスポーツチームは、お金をはらうとレギュラーになれる

本当はお金をはらうことはしていなかった

4

〇〇駅前のケーキ屋さんがつぶれてしまった

本当はリニューアル工事をしていた

リスク小	リスク中	リスク大
問題はほとんどない	迷わくをかけてしまうことがあるかも	多くの迷わくをかけてしまう

解説へ

解答例

リスク小
問題はほとんどない

1 「〇〇」というおかしは、2000年に発売された

本当は2001年だった

リスク中
迷わくをかけてしまうことがあるかも

2 「〇〇」という歴史上の人物は、1804年に△△で生まれた

1905年に□□で生まれていた

リスク大
多くの迷わくをかけてしまう

3 〇〇というスポーツチームは、お金をはらうとレギュラーになれる

本当はお金をはらうことはしていなかった

4 〇〇駅前のケーキ屋さんがつぶれてしまった

本当はリニューアル工事をしていた

スキルのポイント

もし、間違った情報をネット上で公開してしまうと、だれかを傷つけたり、お店に迷わくをかけたりしてしまいます。

特に、だれかのうわさ話やお店がつぶれたという情報は、多くの人に迷わくをかけることがあるので、きちんと調べてから公開するようにしましょう。